

え る の あ

目次

報告 ケアメン講座…………… 1	かでの2・7 各センター紹介…………… 3
もっと女性プラザ…………… 2	インフォメーション…………… 4

報告 ケアメン講座

総務省統計局が実施した「平成24年就業構造基本調査結果」によると、過去5年間に介護・看護のため前職を離職した者は48万7千人、このうち女性は38万9千人で、約8割を占めます。他方で、今後も続く超高齢化と世帯構成の変化により増加するケアメン（介護を担う男性）にとっても、介護を一人で背負う場合が多く、大きな課題になっています。

3月17日に開催した「ケアメン講座」には、現役世代の男性介護者も参加されていました。

初めに、さっぽろ社会福祉士事務所代表で社会福祉士の大島康雄さんから、「男性介護の特性と介護保険制度」についてお話いただきました。

男性介護者が介護を行う時の特性として、介護そのもの以外にも家事行為自体を負担に感じることが挙げられます。「男子厨房に入らず」という言葉にあるように、食事の支度など、女性がやるものであるという社会的な規範から、ご飯支度をするを“惨め”と思う高齢男性もいます。



また男性介護者は女性に比べると友人が少なく、弱みを見せたがらないため、悩みを内在化し、威圧的な態度を取ってしまうことや、自分のスケジュールで物事を進めたいため、認知症の介護に対し女性以上にストレスを強く感じます。

現在の日本の介護は、家族がいないと支えられない仕組みになっていますが、高齢者虐待については6割が男性介護者で、特に未婚の息子の割合が高く、介護は5年10年と続く場合もあるので、男性介護者にとって、自分の時間、余暇の時間を作ることが、介護を続けていくためにはとても大切ですよといったお話がありました。

次に、デイサービスセンターあつたかい湯札幌代表の

田中仁さんと飛嶋剛さんによる実技講習では、入浴と排泄について指導していただきました。特にスキルが必要な、ベッドの上でのおむつ交換については、使い



捨ての DISPOSABLE 手袋を二重にし、汚れたら一枚外して使うことや、清拭の仕方、オムツテープの付ける位置などのポイントを教えていただき、入浴介助では、事前に浴室をシャワーで暖めたり、イスにタオルを敷くなどでヒートショック（急激な温度変化による血圧の急変動などが身体に及ぼす衝撃）を防ぐことや浴槽の中にマットを敷いたり専用のイスを入れて転倒を防ぐ事ができるなどのアドバイスをいただきました。

また今回は、最新福祉用具の紹介や介護者が装着し腰への負担を軽減する介護ロボットの体験なども行いました。

もっと女性プラザ

平成30年度の主な事業（予定）

	4～9月	10～3月
講演会／講座／セミナー等		
えるのす連続講座 ～女性大学～	第1期（10回）	第2期（10回）
男女共同参画週間講演会	6月26日(火)	
えるのす参画講演会 （地域団体との共催事業）	募集	5地域で実施
あなたの街に女性プラザ （市町村等との連携事業）	募集	4～5地域で実施
男性参画講座		ケアメン講座・交流会 3月16日(土)
他団体との連携講座	産む前に知っておきたい!! プレママ・プレパパ産前産後のりきりセミナー 4月14日(土)・6月9日(土)・8月25日(土)・10月27日(土)・12月1日(土)・2月2日(土)	
	女性の健康、起業促進などに関するセミナー など	
女性プラザ祭2018 開催期間： 11月5日～10日		<ul style="list-style-type: none"> ・DVD上映会 6日(火) ・講演会 ・女も男もワイワイセッション ・プラザマルシェ等 8日(木)
相談事業		
女性のための法律相談	面接による相談（1ヶ月前からの予約制） 毎月第2・4水曜日午後 一人30分	
北海道女性の活躍支援センター	・総合相談 ・専門相談 ・メンター相談 など	
男女平等参画関係法律相談	6地域	苫小牧、函館、旭川、北見、帯広、釧路 で開催
交流フロアのイベントなど	<ul style="list-style-type: none"> ・パネル展（男女共同参画週間、女性プラザ祭） ・他団体による様々な展示 ・体操講座等の催し ・カルチャーナイト（7月20日（金））への参加 ・男女平等参画や女性関連記念日、各地域での取組、図書などの紹介 	

情報提供フロアから

新着DVDソフトのご紹介

番号	タイトル	時間
D-53	<NHK厚生文化事業団 福祉ビデオシリーズ> ひきこもりからの回復 （全3巻セット）	第1巻 92分 第2巻 74分 第3巻 73分
D-54	働き方改革とカップルの子育て	40分
D-55	飯館村の母ちゃんたち 土とともに	95分

ピックアップ書籍 平成29年度新着図書から

ずっと働ける会社

マタハラなんて起きない先進企業はここがちがう!
小酒部さやか 著
花伝社



イラストでよくわかる感情的にならない子育て
高祖常子 著
かんき出版

かでの2・7 各センター紹介

かでの2・7には女性プラザ以外にも、道民の学習や活動を支援するセンターがあります。

北海道立市民活動促進センター（8階）

さまざまな市民活動を行う方々の活動の場・交流の場として、また、市民活動に関する相談を受け付けたり、役立つ情報を発信したりしています。

●こんなことをしています●

交流スペースの提供

- ・市民活動の打合せ、勉強会、作業等自由に使えるスペースの提供

市民活動よろず相談

- ・NPO法人設立、団体運営、実務（会計、助成金など）に関する相談やその他の市民活動に関する相談

市民活動に関する講座等の開催

- ・市民活動に関わるきっかけづくりのための講座
- ・団体スタッフのための実務を学ぶ講座など

このほか、パソコンやプリンター、印刷機、紙折り機などの機材がご利用いただけます。

お問い合わせ先

Tel : 011-261-4440

HPアドレス : <http://www.do-shiminkatsudo.jp/>



北海道立生涯学習推進センター 情報交流広場「まなびの広場」(9階)

情報交流広場「まなびの広場」は、道立生涯学習推進センターの施設の一つ（受託者：北海道生涯学習協会）です。地方新聞や各種図書が設置されており、自由に学習することができます。また、展示コーナーでは様々な団体が月ごとに写真や資料等を展示しており、活動を発表する場にもなっています。そのほか、受付カウンターでは道民カレッジに関する相談や視聴覚教材の貸出にも対応しています。

かでの2・7にお越しの際は、ぜひ当施設にもお立ち寄りください。

○開館時間 9:00~18:00

○休業日 土・祝日・年末年始

(12月29日~1月3日)

・道民活動センタービルの臨時休館日

【北海道生涯学習協会について】

道民の生涯学習の振興を図り、生涯学習社会の実現に寄与することを目的とした、公益財団法人です。年間10回程度、今日的な課題に焦点を当てた「かでの講座」を開催し、道民への学習機会の提供を行っています。

第1回目は、作家の小檜山博氏にご講演いただきます。興味のある方は下記までお申し込みください。

日時：4月23日（月）13:30~15:30

会場：4階 大会議室

受講料：500円（賛助会員は400円）

お問い合わせ先：011-204-5780



かでの2・7にある3施設（女性プラザ、市民活動促進センター、生涯学習推進センター）では、より多くの方に知っていただき、利用していただくために、合同での上映会を開催しました。

2月に開催したDVD上映会の様子



女性の活躍推進に係る総合相談支援窓口

北海道女性の活躍支援センター

■総合相談

女性のライフステージにおける様々な悩みに、支援制度に精通し、幅広い知識・経験を有する支援員が、専門相談窓口の紹介等も含めて相談に応じます。

利用時間：月・火・木・金 10:00~16:00
水・土 10:00~13:00

休館日：日曜・祝日・年末年始

相談方法：面談、電話、Eメール、FAXにて承ります。

■専門相談

起業をはじめ、子育て、介護などに関する専門的な知識・経験を有する者（以下「専門家相談員」という）が、面接や電話で相談に応じます。

相談方法：相談のお申し込みをいただき、専門家相談員と日時を調整させていただいた上で、面接や電話でご相談いただけます。

■メンター相談

北海道の女性活躍ロールモデル集「北の★女性からのメッセージ」で紹介されている女性たちからあなたのチャレンジにアドバイスをもらいませんか？

例えば「〇〇さんみたいな活動がしたいけど、必要なことって何ですか？」「知識も経験もないけど、今からでも始められる？」といったあなたの素朴な疑問、相談にメンター（助言者）として体験談を踏まえて、助言いたします。

■ご相談の方法：メールでの相談となります。

■ご相談開始までの流れ：

- 1) お申込み
- 2) センターから連絡
- 3) ご相談開始

■お問い合わせ・お申込み方法：

「申込書」に必要事項を記載し、「FAX」「郵送」「Eメール」いずれかの方法にて北海道女性の活躍支援センターへ



■お申込み・お問い合わせ先

北海道女性の活躍支援センター

電話：011-272-0008

(月・火・木・金 10:00~16:00 / 水・土 10:00~13:00)

FAX：011-261-6693

Eメール：plaza@l-north.jp

URL：http://www.l-north.jp/sodan/katuyaku.html

男女共同参画週間講演会

演題 「電子メディアに奪われる子どもたち」

～パパとママ、ジジとババで考えよう！

子どもの心と体を育てるために大切なこと～

講師 NPO法人お助けネット

代表 中谷通恵 さん

「子育てには正解がない」

と言われるますが、子どもの育

ちには「欠かせないこと」が

あるようです。どうもそれが、

電子映像メディアに阻まれて

いるようなのです。でも、こ

れからの時代ネットは不可欠。ならば、どんな

風に子どもや孫に使わせたらいいのでしょうか。

男女共同参画社会を担っていく人を育てるとい

う視点でみなさんと学び合えたらと思います。



○日 時 平成30年6月26日（火）

10:00~12:00

○会 場 かでる2・7 4階 大会議室

○参加料 無料

*お申込み方法

電話かEメール又は、直接女性プラザ窓口でお申し込みください。

(受付開始：5月26日（土）)

TEL:011-251-6349

9:00~17:00（日曜・祝日は除く）

※Eメールの方は、

①講演会参加希望 ②お名前 ③電話番号

を明記し、info@l-north.jp

(は小文字のL)へ送信して下さい。

えるのす参画講演会（地域開催）

共催団体募集

女性協会では、男女平等参画についての講演会を札幌市以外の道内5地域で開催することとし、この事業を共催する民間団体を募集しています。

市町村等連携講座「あなたの街に女性プラザ」

実施希望「市町村」「男女平等参画関連施設」募集

女性プラザが道内市町村や男女平等参画関連施設と連携し、あなたの街で行う男女平等参画に関する講演会や講座を支援する事業です。

応募方法

平成30年5月19日（土）までにそれぞれ所定の申請書にてご応募ください。

*詳しくは女性プラザのホームページ・チラシをご覧ください。お電話でお問い合わせください。



- 「えるのす」「道立女性プラザ」に対するご意見、ご感想、ご要望などをお寄せください。
- 「えるのす」は女性（Lady）の頭文字と北（North）の造語です。